

平成24年度 杉森中学校 第6回学校運営協議会 会議録

日時 平成 24 年度 10 月 24 日(水)17 時 00 分～18 時 15 分

会場 杉森中学校 会議室

出席者

《協議会委員》 石田 壽文
高崎 彰
大川 洋
伴野 博美
岡田 円治
安藤 雄太
大熊 康子
由井 宮太郎
松本 美智子



大橋 亮介(校長)



《高円寺中学校》
副校長 皆川 武人



《教育委員会教育支援課》
杉本 直樹

《杉森中学校事務局》
田邊 克宣(副校長)
長谷川 祐子(嘱託事務)



《教育人事企画課》
係長 坪川 征尋



《教育人事企画課》
主査 平井 秀明

傍聴 一野 まり

会長 9月末に修学旅行でした。初日が嵐になってしまったそうですが、先生方のご指導でその後の日程を過ごしたようですね。

明日は合唱コンです。場所が「国立オリンピック記念青少年センターと少し遠方ですが、ぜひ委員の方、聞きにいていただきたいと思います。

今日は連絡協議会のご担当である高円寺中学皆川副校長、教育委員会教育支援課から本校の担当である杉本さんにお越しいただきました。また人事企画課から後ほどお二人お見えになります。

皆川副校長 私は保健所勤務が長く、昨年までは郷土博物館の館長をやっていました。高円寺中は小中一貫の取り組みの関係で、二人副校長制をとっています。教員資格を持っている副校長は主に教務を担当しています。第二副校長である私は地域の方とのかかわりを担当するという役割分担をしています。四月からやっと半年たちました。高円寺地区では今問題になっている脱法ハーブの店があります。先日パトロールがありました。その時にこちらの先生方とパトロールで一緒にしました。今後ともよろしくおねがいいたします。

杉本 学校支援課の杉本と申します。去年まで教育改革推進課という名前でしたが、4月の組織改正で今年からは教育ビジョンというものを元に学校を支援していく学校支援課というものに変わりました。

普段はCS校(松ノ木・方南・中瀬中)の会議に参加しています。今はCS校も19校ですが、教育ビジョンでは4校ずつ増やしていく予定です。事例を見せていただきながら、新しい学校に役立てて生きたいと思います。

CS以外にも中学生レスキューでもお世話になりました。

校長 9月30日から奈良・京都に修学旅行に行きました。1泊目は奈良、2泊目は京都でした。到着したときには台風で雨がひどく、最終的な判断として飛鳥はあきらめて短縮コースになりました。法隆寺・興福寺の宝物館をゆっくりと見ることができてよかったです。阿修羅千手観音なども見やすくなっていました。コース変更をしたので、宿舎に入るのが早くなり、エネルギーがありあまっている状態でした。翌日は朝の5時から若草山に希望者で散歩にいこうと声をかけたところ、9割の生徒、ほぼ全員が登りました。朝から鹿を見たりして良いスタートになりました。その後奈良公園では、ボランティアガイドさんが解説をしてくださいました。

京都では班行動で若干遅れたグループもあったものの、きちんと連絡があり、笑顔のうちに終わりました。落ち着いた修学旅行でした。



- 司 会 今日後はほど CS 新委員の選出について話し合いたいと思います。
また、学校選択制についてご意見があれば…。
- A委員 特定の学校に生徒が集まってしまうということがあるのでは。
- 校 長 サッカー部や野球部がない中学では、その部活がある学校に希望するという
こともあるようです。
- B委員 小中一貫と打ち出しているのに、希望者が少なくなっているのはなぜなんで
しょう。
- 皆川副校長 改築工事などが関係することもあるようです。部活などにも要因があると思
います。
- B委員 部活だけの事ではない気もします。
どこの学校も小中一貫をめざすのであれば、行政がそのところをしっかりと
推進していただきたいと思います。ぜひ検討してください。
- 司 会 小中一貫というのは、学区をきちんと決めてやっていくという事でしたが、
学校選択制がはじまってから、うまく進まなくなっているのではないでしょ
うか。



校 長 10月5日、ふれあい運動会に3年生が5名参加しました。
阿佐ヶ谷ジャズフェスティバルの看板がパールセンターに飾られます。
素晴らしいできなのでぜひご覧ください。すごくいい場所に飾られています。
子ども盆踊りのボランティアに美術部などの生徒約50名が参加してくれました。阿佐谷青少年育成委員会の推薦で青少年表彰をいただきました。
税の作文で税務署長賞をもらいました。これは区内で2人が入賞ということです。作品点数1000点の中から選ばれました。3年生の深澤陽さんです。
税務署が主催する大宮八幡での表彰式と、また別に区の主催する表彰式があるそうです。子どもたちの活躍が目立っています。

少人数指導の意見書の届出ですが、数学の少人数を新たに申請しました。
受理はしてもらえましたが、都が認めてくれるかはわかりませんが、ぜひ認めてほしいとの要望をだしました。

A委員 パールセンターにあるジャズフェスティバルの展示をみてきましたが、あの通りを利用する小学校が中心なんではないでしょうか。かなりの数の学校の作品が展示されていましたね。杉一小は2枚…中学は杉森中だけでしたね。どういう経緯で杉森中が展示されているのですか？



阿佐ヶ谷パールセンター入り口に展示されました。

B委員 あれは「ジャズストリート実行委員会」からの依頼です。

校 長 今回は、杉一の図工の先生と本校の美術・シュティーベリング先生とが協同でやろうということになりました。

A委員 シュティー先生の積極的なご指導で、こういう発表ができるというのは大変素晴らしいことだと思います。

校 長 非常に積極的に地域に協力してくれています。

司 会

シュティー先生は中野の教員だった時に中野サンモール商店街での経験が
おありなので、そういう発想ができたのではないのでしょうか。部活動などの延
長などでそういう発想も今後でてくると思います。ぜひ街の活性化のためにい
ろいろな形で役立てていただきたいと思います。しかし、こういった活動に時
間的にも予算的にも学校でやるのは大変なことです。東京都では、美術・音楽・
演劇という地域とのつながりができる教科をもっともっと充実させていただ
きたい。学校支援という視点からも応援していきたいと思います。

B 委員

掲示の形態にするために、杉一の図工室に美術部の生徒さんが来てくださ
って作業してくれました。小中一貫という意味でも、とてもよかったです。

副校長

10 月 3 日、2 学年が校外学習で鎌倉に行きました。明日の合唱コンに向け
て全学年が頑張っています。吹奏楽部も各学級も歌練をよくやっていました。

学校支援本部のバックアップで補充学習教室も充実してきました。水曜日は
数学、木曜日は英語。3 名の外部指導員の方をお願いして来ていただしてい
ます。1 年生 19 名、2 年生 12 名、3 年生 10 名です。

11 月の行事予定ですが、11 月 5 日から三者面談が始まります。11 月 1 日、
修学旅行の業者選定会議があります。近畿日本ツーリスト・日本旅行・JTB の
三社で企画プレゼンテーションを行います。管理職・該当学年・PTA 学年委
員で検討します。2 日は 3 年生コミュニケーション授業があります。16 日は 2
年生のコミュニケーション授業です。11 月 6 日杉並区立中学校連合文化祭が
あります。美術・技術・家庭科の作品展が一本化しました。セシオン杉並の展
示室で 6 日から 11 日まで開催されています。



美術 技術・家庭科作品展 セシオン杉並展示室 展示の様子

- 副校長 6日に都研修センターの研究授業があります。1Bの音楽授業です。
- 21日が杉森・杉一・馬橋小3校での合同研修会があります。12月1日は杉森祭です。今年度再び部活動を中心に企画をたてます。
- 3年生が、阿佐ヶ谷駅近くの三叉路、下校後ですが自転車で他の自転車とぶつかりそうになり、ブレーキをかけたところバランスを崩して転倒。手をついて骨折してしまったとのことです。
- 明日の合唱コンの集合の際にも交通には気をつけて行きたいと思っています。
- C委員 自転車の交通法規が変わってきていますよね。学校として、警察と連携して自転車のマナーについて何かやっているのでしょうか。
- 副校長 今すぐに予定するのは難しいですが、以前は交通教室をやっていたこともあるので、生活指導の方に相談してみます。
- 校 長 インパクトがあってなかなか良いのですが、学校数が多く、区が3年に一度スタントマンを招いて自動事故の再現をしてくれます。
- D委員 自転車の整備不良も多くなってきましたね、安売りの自転車などは粗悪なものも多い。自転車組合から、プロが無料できてくれます。
- 校 長 多摩地区などでは協会がきてくださって毎年やっているようです。
- 司 会 街づくり・道づくりの時に色々と考えてほしいですね。



- E委員 支援本部からの報告です。土曜日学校は中間テスト前に行いました。今年か

らはただ時間を長くするだけではなく、集中して勉強できるように2時間くらいに設定しています。後で質問する時間を設けています。今二回目の検定ですが、申込書の書き方や、欠席の際の連絡も自分自身ですするという成長が見られます。

A委員 10月26日14時から学校運営協議会連絡会がありました。前回のアンケート資料の抜粋をしたものがプリントになっています。

昨年は小中一緒だったのが、今年は3つのグループに分かれて意見交換をしました。学校と支援本部とのかかわりが地域によって違う。盛んなところとそうでないところ、ご苦労なども伺いました。教育課程の変遷では、学校長の伝達だけではなくCSにも伝えてほしいという話もしましたが、そこまで関わっている学校は少ないのかもしれない。

司 会 広報から報告はありますか。

B委員 運営協議会通信ですが、前回キャリア教育をとりあげたのですが、メッセージを持った広報誌を作ってきました。やったことの報告だけではつまらないし、読んでももらえません。杉森ではメッセージ力を強く持ってここの委員会でどのような形で、何を取り上げられたかという事を伝えていきたいと思っています。今回は全校レスキュー隊が配置になったので、レスキュー隊を15歳の人物像—小学生があこがれる中学生・先輩—ということで広報誌で取り上げたい。ボランティアの意義や精神も大人が教えていくべきだと思います。これからの地域への貢献・レスキュー隊の意味などを話しながらそれを広報誌に載せたいと思っています。

C委員 レスキュー隊は全校配置になったんですね？

司 会 平成22年度からですね。

B委員 作っただけではもったいないですね。レスキュー隊の精神・意義などを大人が教えていくべきではないかと思います。



司 会 次に協議事項に入ります。今日は2件あります。

学校関係者評価委員会について校長先生の方からあります。

それと来年度の人事案件についてです。

では、教育人事企画課からお二人来ていただいていますので、自己紹介をよろしくお願いいたします。

坪 川 教育人事企画課の坪川と申します。先生方の人事を担当しています。今、各校長先生からそれぞれの人事構成などのお話しをお聞きしているところです。それをまとめて東京都のほうに提出することになっています。

平 井 同じく人事企画課からまいりました平井と申します。よろしくお願いいたします。



校 長 平成 24 年度の学校評価についてですが、前年度の学校で自己評価したものが学校関係者評価を受けるということになっています。その学校関係者評価委員を選定ですが、学校運営委員会が配置されている学校は兼務してもよいということです。ということで、今年度もみなさんに評価委員をお願いしたいと思います。また学校運営委員会以外の委員を 1 名入れなくてはならないということで、PTA 会長さんをお願いしようと思っています。

ご了承いただけますでしょうか。

司 会 では、ご了承いただけたということで、人事案件のほうに入りたいと思います。

*この後は非公開

END